

新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査 概要・結果①

調査概要

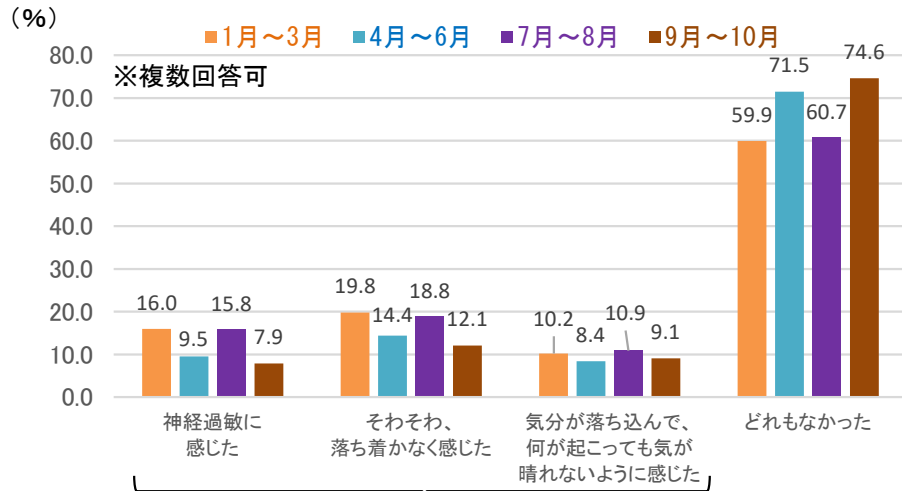
新型コロナウイルス感染症の拡大及びこれに伴う行動制限等の対策により、感染に対する不安や行動変容に伴うストレスなど、国民の心理面に影響が生じていることから、こうした心理面への影響を把握することを目的に実施したもの。

得られた結果は、精神保健福祉センター等における相談対応等の実務や今後の施策に活かしていく。

- ◆調査期間：令和4年10月21日(金)～10月26日(水)
- ◆調査方法：インターネットによる調査
- ◆調査対象：一般の方々(15歳以上)
- ◆回収サンプル：10,812件

主な調査結果 ①

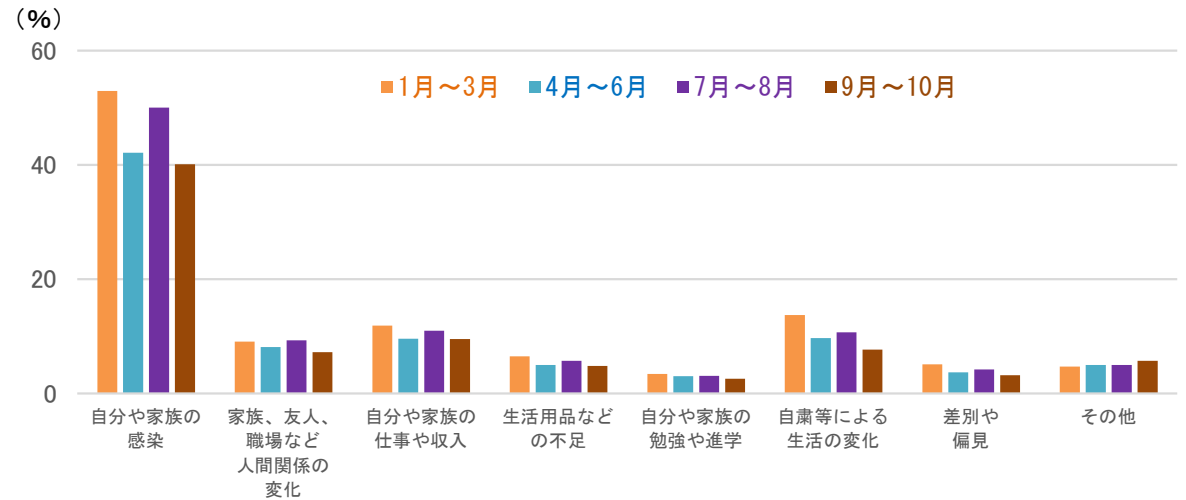
1. 感染者数が急増した令和4年1～3月、7～8月においては、4割前後の人が何らかの不安等を感じていたが、全体としては、令和3年度及び令和2年度の調査を下回る割合の傾向となった。



【何らかの不安等を感じた人の割合(時期別)】

令和4年度調査結果	1月～3月	4月～6月	7月～8月	9月～10月
	40.1%	28.5%	39.3%	25.4%
(参考) 令和3年度調査結果	4月～6月		7月～9月	10月～11月
	46.6%		45.9%	27.3%
(参考) 令和2年度調査結果	2月～3月	4月～5月	6月～7月	8月～9月
	55.1%	63.9%	55.9%	45.0%

2. 不安の対象としては、令和3年度及び令和2年度の調査と同様に、いずれの時期も「自分や家族の感染への不安」が最も多かった。



【不安の対象(上位3つ)】

時期		1位	2位	3位
令和4年度	1月～3月	自分や家族の感染	自粛等による生活の変化	自分や家族の仕事や収入
	4月～6月	自分や家族の感染	自粛等による生活の変化	自分や家族の仕事や収入
	7月～8月	自分や家族の感染	自分や家族の仕事や収入	自粛等による生活の変化
	9月～10月	自分や家族の感染	自分や家族の仕事や収入	自粛等による生活の変化

※令和3年度及び令和2年度の調査においても、「自分や家族の感染」が全ての時期で1位という結果であった。

新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査 概要・結果②

主な調査結果 ②

3. 困ったこと・ストレスに感じたこと (複数回答可)

(令和3年度調査と令和4年度調査の比較)

(1) 生活に関すること

…新型コロナウイルスの流行(コロナ禍)がいつ終わるかわからないこと(43.0%→34.4%)

旅行やレジャーができないこと(47.2% → 34.1%) など

(2) 感染や感染症の情報に関すること

…自分や家族が感染するかもしれないこと(58.4%→45.6%) など

(3) 医療・福祉、仕事に関すること

…医療機関を受診しづらいなど医療サービスを受けづらくなったこと(35.0%→25.0%)

世帯の経済的な苦しさが増したこと(12.9%→16.7%) など

(4) 家族などに関すること

…家族・親戚・友人などに会えないこと(34.4%→24.5%) など

【産業別の特徴】

◆「農業、林業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」では、他の産業と比べて「新型コロナウイルスの流行(コロナ禍)がいつ終わるかわからないこと」が多かった。

◆「生活関連サービス業、娯楽業」では、他の産業に比べて、「世帯の経済的な苦しさが増したこと」や「仕事の先行きが不安定なこと(失業を含む)」が多かった。

4. 感染拡大前と比較した日常生活における変化としては、運動量は減少し、ゲーム時間が増加した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、

◆運動量は、前回調査の結果と同様に約2割の人が「減少した」と回答した

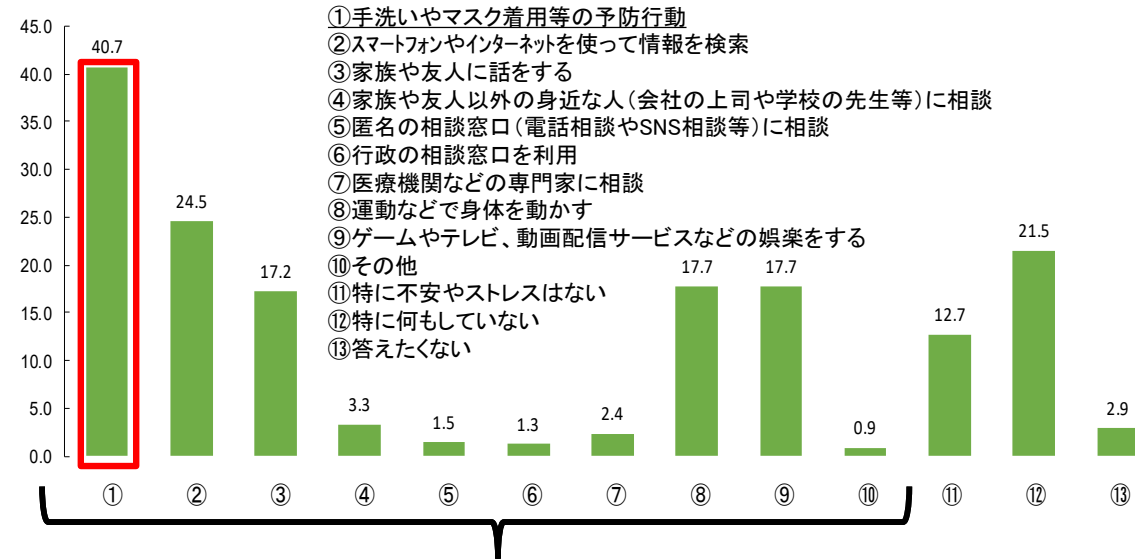
◆ゲームをする時間は、6.4%の人が「増加した」と回答した。

※前回の調査では、5.3%の人が「増加した」と回答した。

5. 不安やストレスの解消方法は、手洗いやマスク着用等の予防行動が最も多かった。

(%)

(複数回答可)



これらの解消方法を行った人の半数以上が、不安やストレスをうまく発散・解消できていると回答。

(%)

■令和2年度 ■令和3年度 ■令和4年度

